みんぱく 開館40周年記念特別展「ビーズ──つなぐ・かざる・みせる」関連公開研究会

北東アジアのガラス玉の道
──アイヌのタマサイを中心に

平成29年3月25日（土） 14:00～16:50

場所 国立民族学博物館　第4セミナー室（本館2階）

アイヌのガラス玉の首飾り（タマサイ）は、13・14世紀の遺跡から出土しており、アイヌ文化期初期から重要な交易品だったことがうかがえます。北海道にもたらされたガラス玉の生産地は、時代によって異なることが指摘されてきましたが、近年はガラスの成分分析の研究も進み、その流通ルートが明らかになりつつあります。アイヌ文化におけるガラス玉利用とその意味にも着目しながら、北東アジアの人と物の移動・交流についてさぐります。

プログラム	（各発表30分＋質疑応答10分）　司会：齋藤玲子（本館・准教授）
13:30～	開場
14:00～14:05	挨拶・趣旨説明　池谷和信（本館・教授）
14:05～14:45	発表「北海道におけるガラス材質の変遷」 高橋美鈴（様似町教育委員会・学芸員）
14:45～15:25	発表「アイヌ文化のシトキの形成」 越田賢一郎（札幌国際大学縄文世界遺産研究室・室長）
15:25～15:35	休憩
15:35～16:15	発表「北方世界のガラス玉の流通について」 中村和之（函館工業高等専門学校・教授）
16:15～16:25	コメント　大塚和義 （大阪学院大学・教授／国立民族学博物館・名誉教授）
16:25～16:50	討論 閉会挨拶

首飾り（北海道アイヌ）

国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

［大阪・万博記念公園］
〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10番1号
Tel:06-6876-2151（代表）
www.minpaku.ac.jp/

参加無料（展示観覧券不要）・要事前申込（先着70名）

｜申し込み・問い合わせ先｜
北東アジア地域研究　国立民族学博物館拠点
northeastasia@idc.minpaku.ac.jp

人間文化研究機構 北東アジア地域研究推進事業 国立民族学博物館拠点 第10回月例会